

「地域力」時代の変化が問うもの

南島 健之(中里)

五年前、本欄に寄稿した前段に、国の内外で起こった二つの大事件を取り上げた。前年(平成二十一年)一月にアメリカで黒人初の大統領が就任し、かの国に「チェンジ」の大合唱が吹き荒れたこと。そして九月、国内では大合戦が吹き荒れたとき、自民党が下野したことである。...

「議会活動で『承認から提言へ』とスタンスを変えていく期待を、町民は、日々膨らませています」と述べた。以上述べた拙論の基本的な論点、あるいは課題について、五年を経過した今、改めて検証してみたい。...

氏はまず、戦後の公選制による地方議会が地域安定・振興の論議の場であるべきことを述べ、続けて地方議員の実情が高報酬と専門化が進んでいくことを、数字を挙げながら述べて、地方議会の低調さを嘆いている。氏は言う。...

編集後記

弥生三月第一回定例議会が始まり川島町長の施政方針と予算の審議が主な議題であった。その中から特筆すべき内容を拾ってみると、少子高齢化に伴う人口減少のことが、これまでと比較にならない意気込みが伝わってきた。...

議会広報委員 峰山恵喜光

159号

平成27年4月30日発行

喜界町 議会だより



発行/喜界町議会 編集/議会広報編集委員会 〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地 TEL:0997(65)1115 FAX兼用



平成27年度 入学式(喜界中学校)

Table with 2 columns: Title and Page Number. Includes items like '施政方針・平成27年度一般会計当初予算' (2), '総括質疑' (4), '常任委員会報告' (7), '一般質問に4名が登壇' (9), '議員定数等に関する特別委員会設置' (11), '読者の声・編集後記' (14).

主な内容

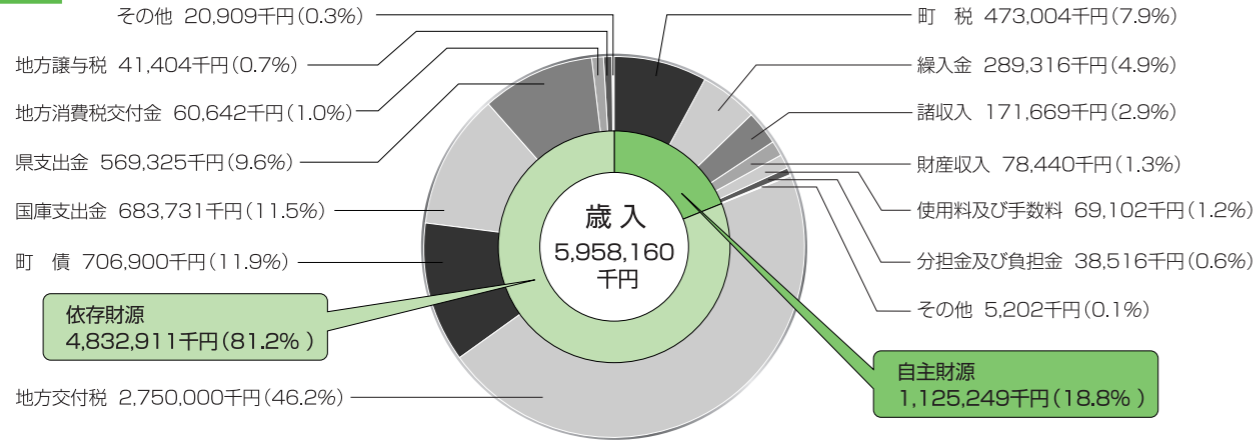
平成27年度 一般会計当初予算

前年比2億6,824万円(4.7%)増の 59億5,816万円

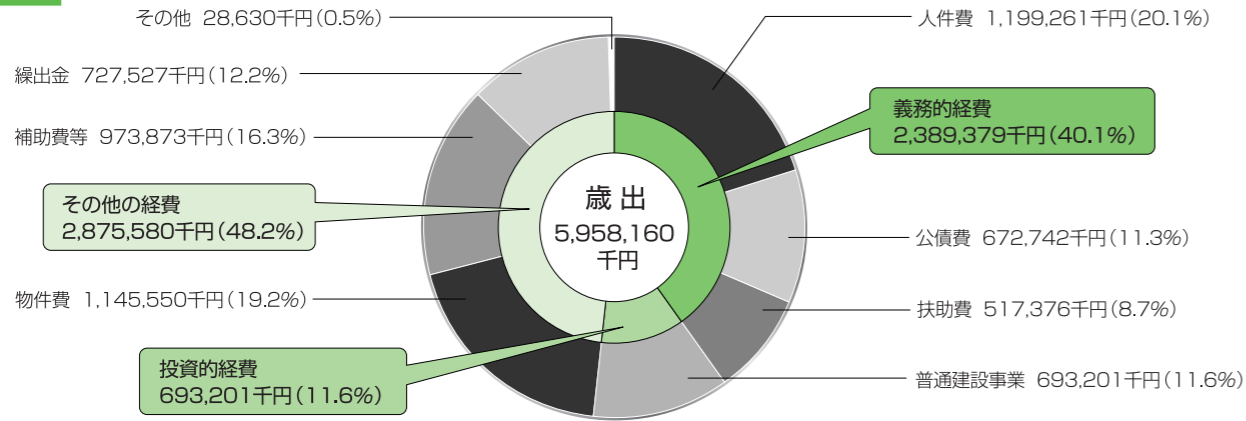
平成27年度 一般会計当初予算

(単位:千円)

歳入



歳出



平成27年度 各会計予算総括表

(単位:千円)

会計	本年度		前年度		前年度比較 (A-B) C	増減比 % (C/B)
	当初予算額 A	構成比 %	当初予算額 B	構成比 %		
一般会計	5,958,160	57.1	5,689,916	60.4	268,244	4.7
特別会計	4,474,503	42.9	3,724,031	39.6	750,472	20.2
国民健康保険特別会計(事業勘定)	1,295,992	12.4	1,137,259	12.1	158,733	14.0
直営診療施設勘定	25,554	0.2	5,033	0.1	20,521	407.7
簡易水道事業特別会計	1,520,938	14.6	932,159	9.9	588,779	63.2
屠畜場事業特別会計	2,930	0.0	1,782	0.0	1,148	64.4
介護保険特別会計	919,915	8.8	956,804	10.2	-36,889	-3.9
老人福祉施設事業特別会計	359,061	3.4	353,399	3.8	5,662	1.6
農業集落排水事業特別会計	54,555	0.5	51,753	0.5	2,802	5.4
公共下水道事業特別会計	198,004	1.9	196,689	2.1	1,315	0.7
後期高齢者医療特別会計	97,554	0.9	89,153	0.9	8,401	9.4
合計	10,432,663	100	9,413,947	100	1,018,716	10.8



施政方針

国の現下の財政状況は、急速な高齢化を背景とする社会保障経費の増加、リーマン・ショック後の経済危機への対応、名目経済成長率の低迷等もあり、財政状況は大幅に悪化しております。

こうしたことを踏まえまして、政府は強い経済が日本の国力の源であり、経済の好循環を確かなものとし、全国津々浦々にまで景気回復の実感を行き渡らせる、若者が将来に夢や希望を持つことができる魅力あふれるまちづくり、ひとづくり、仕事づくりを進めることにより、元気で豊かな地方の創生に全力を挙げるものとされております。

また、昨年十二月に、日本の人

口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する、まち・ひと・しごと創生長期ビジョンと、これを実現するために、今後五カ年の目標や施策の基本的な方向を示した、まち・ひと・しごと創生総合戦略が取りまとめられております。この中では、世界に類を見ないスピードで進行している人口減少、超高齢社会の原因を、少子化と東京への一極集中としており、結婚から出産、子育てまでの切れ目のない支援や、都市部から地方へ移転しやすい環境づくりを掲げています。

あわせて、地方創生を国と地方が一体となり、中長期的視野に立って取り組むため、全自治体に対して、具体的な施策をまとめた地方版総合戦略の策定を要請しております。

本町といたしましても、こうした国政の流れを受け、昨年末に喜界創生プロジェクトチームを発足させ、今後、ワーキンググループ設置、有識者会議等を立ち上げ、本年夏ごろを目途に、喜界版総合戦略の素案を策定、公表する予定であります。第五次喜界町総合振興計画に基づき「心豊かで活力に満ちたうるおいの町」実現のために、本町の地域特性や可能性をしっかりと生かした地方創生に取り組んでまいります。

昨年もしましたが、我が島には我々が生きていくために必要な資源があり、また、温暖な気候、素晴らしい自然、穏やかな住民、独自の文化など、お金の換算できない大切なものが残されています。島民の持ち味である、急がず、みんな地道に一步一步積み

上げる精神で取り組み、いま一度自分たちの足もとを見詰め直し、発想を転換することで、ハンデを強みに変えることも可能だと思います。

平成二十七年の町政運営につきまして、「心豊かで活力に満ちたうるおいの町」を基本理念とし、平成二十三年度より十カ年計画として策定されました、第五次喜界町総合振興計画の五つの基本目標に沿って所見を申し上げます。

本町がより一層飛躍できるよう、創意工夫による自主・自立の町づくりにも積極的に取り組み、「小粒でもキラリと輝く島」を目指し、全ての町民の皆様が、将来に明るい希望の持てる地域社会を構築してまいります。



平成二十七年第一回定例会は、三月五日から二十日までの十六日間開催されました。

初日は、施政方針並びに平成二十七年当初予算について説明があり、平成二十六年度一般会計補正予算と特別会計補正予算五件及び工事請負変更契約を可決し、平成二十七年一般会計予算、特別会計予算九件は予算審査特別委員会に付託し、条例十八件は各常任委員会へ付託しました。

十六日に四名の議員が登場し、一般質問がありました。

最終本会議に予算審査特別委員会に付託された、平成二十七年一般会計予算と特別会計予算、各常任委員会に付託された条例十八件を可決しました。

追加議案の工事請負契約二件を可決、発議四件を採択し関係先へ送付しました。固定資産評価審査委員会委員・教育委員会委員の任命、副町長の選任については、全会一致で同意しました。

総括質疑

青山 春男 議員

質問 国庫支出金及び県支出金について
国庫支出金、対前年度比十四・五％、一億一千六百二十九万一千円の減額計上で、県支出金、対前年度比十三・五％、六千七百八十三万八千円増額になっている。国・県差し引き四千八百四十五万三千円の減額になっているが、関係する事業に影響はないか。

答弁 総務課長

国庫支出金及び県支出金の増減については、二十七年と、それから二十六年の補正等の前倒しとか、大きな事業の増減ですので、別段支障はないものと思っています。

質問 諸収入について

諸収入の九千九百五十五万円増額はなにか。

答弁 総務課長

諸収入の増額については、一番大きいのは八千五百万円の消防組合からの諸収入で、平成元年度から十六年度分の負担金を消防のほうに退職手当負担金として納めていたわけですが、これが使われていなかったということ、構成市町村のほうに二十七年に返却されます。

質問 総務費について
総務管理費、徴税費等合計が一億六千五百七十一万九千円増額になっているが理由はなにか。

答弁 総務課長

総務費の増については、光プロードバンド等の二億円余りの大きな事業費等の分です。海底ケーブルは昨年度二十六年から始まり、補正でついた予算ですので、当初の予算には載っていませんので、今回初めて当初予算のほうで計上ということで、大きな増になっています。

質問 国民健康保険特別会計予算について

平成二十六年当初予算においては十一億三千七百二十五万九千円で、本年度当初予算は十二億九千九百九十九万二千円と、対前年度比十四％、一億五千八百七十三万三千円増額について。

答弁 保健福祉課長

一番大きな要因は、共同事業の拠出金の増です。共同事業は、昨年度までは三十万円以上の高額な医療費について、各市町村が拠出金を出し合っていて、高額医療の多いところに分配をするという方式をとっておいりましたが、平成

二十七年からは全ての医療費に拡大をされます。そのことにより、共同事業の各市町村の拠出金がふえるという状況になります。国保の広域化は平成三十年からですが、実質的な実務は平成二十七年から広域化ということがいえると思います。

質問 奄美群島振興開発特別措置法、奄振法の予算について

国土交通省一括計上分、公共費、非公共費合わせて総額二百三十三億二千二百円で、対前年度比九十二％と減額になりましたが、奄美群島振興交付金二十六年分補正で三億円追加されています。本年度、本町における奄振

予算事業、その内容と予算額についてまた、二十六年から開始された交付金制度見直しについて。

答弁 企画課長

平成二十七年奄振関係は、公共事業二百十二億五千五百万円、対前年度比九十一％、非公共事業二十億六千七百万円、対前年度比九十六％、合計で二百三十三億二千二百万円、対前年度比九十二％であります。

非公共については、二十六年補正で三億円追加されており、対前年度比

百十％になっています。

県営事業分は、農業・農村整備、水質保全対策、農地整備、県道、港湾事業等で、総額十三億一千万円です。

本町分は、港湾・漁港、町道、簡易水道事業、糖業、園芸振興事業、林業、林務、畜産、地籍調査事業、公営住宅建設、農業集落排水事業等で、総額十九億二千七百万円となっています。

非公共事業は、航空路・航路運賃低減事業、農林水産物輸送コスト支援事業、農業創出緊急支援事業、サンゴ礁保全事業等合わせて、一億一千万円です。

県営及び本町事業分総額は三十三億四千七百万円、対前年度比百十三％となっています。

交付金事業の見直しについては、制度はそのままとなっているので、二十六年並みの事業が実施されます。

その他、需要喚起事業、これは島外からの観光客等と呼び寄せる事業等が拡充される見込みとなっています。

■平成27年度 喜界町一般会計予算

歳入

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	説明
町税	473,004	478,190	- 5,186	個人町民税と固定資産税の減が要因 町民税188,387 固定資産税198,456 軽自動車税23,761 たばこ税62,400
地方譲与税	41,404	43,250	- 1,846	国税である揮発油税・自動車重量税・航空機燃料税の全部または一部が道路経費・空港周辺整備費として地方に譲与される
利子割交付金	742	800	- 58	県に納められた利子割収入額の一定割合が交付される
配当割交付金	826	200	626	株式配当・譲与の所得にかかる税を県が一括徴収し、徴税費相当額5%を控除した後の一定割合を市町村に交付する
地方消費税交付金	60,642	57,000	3,642	国が市町村の安定的財政基盤を確立するために地方消費税の一部を交付する
自動車取得税交付金	5,053	5,400	- 347	県が自動車取得税の66.5%を道路関係費用に充てる財源として市町村道の延長と面積で按分し交付する
国有提供施設等所在市町村助成交付金	12,898	12,000	898	自衛隊が使用する通信施設が基地交付金の対象となる
地方特例交付金	571	661	- 90	減税に伴う地方税の減収額を一部補てんするために交付される
地方交付税	2,750,000	2,720,000	30,000	地方自治体間の財源不均衡を調整し住民が標準的サービスを受けられるように国が配分する 歳入の46.2%を占める
交通安全対策特別交付金	767	848	- 81	道路ミラーなどの設置
分担金及び負担金	38,516	32,469	6,047	担い手育成畑地帯総合整備分担金13,200 保育徴収金16,679 など
使用料及び手数料	69,102	72,044	- 2,942	火葬場使用料2,535 公営住宅使用料現年分43,130 戸籍手数料3,300 廃棄物処理手数料10,169
国庫支出金	683,731	800,022	- 116,291	保育所運営39,829 児童手当75,160 障害者自立支援110,313 港湾整備277,500 住宅整備49,582 道路整備21,000
県支出金	569,325	501,487	67,838	保育所運営19,914 児童手当16,970 障害者自立支援55,156 国保基金安定34,231 農林水産物輸送コスト支援19,006
財産収入	78,440	29,380	49,060	教員住宅使用料5,571 加工販売施設附設備使用料2,000 指定袋販売収入9,160 など
寄付金	202	201	1	しま興し祭り指定寄付金200
繰入金	289,316	345,501	- 56,185	財政調整基金196,813 肉用牛特別導入基金13,842 公共施設整備基金76,041 ふるさと寄付基金2,620
繰越金	5,000	5,000	0	前年度繰越金
諸収入	171,669	72,118	99,551	給食費 幼稚園3,194 小学校13,518 中学校8,522 ケアプラン作成料3,811 など
町債	706,900	513,300	193,600	畑地帯総合整備33,600 港湾整備30,000 道路整備15,000 光プロードバンド240,000 など
一般会計歳入合計	5,958,160	5,689,916	268,244	国庫支出金及び一般財源の確保に努力しているが財源不足を生じたため前年に引き続き基金繰入をした

歳出

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	説明
議会費	103,137	96,208	6,929	構成比 1.7%
総務費	989,316	823,597	165,719	構成比 16.6% 総務管理費859,564 徴税費49,260 戸籍住民基本台帳費56,791 選挙費16,337 監査委員費1,720 など
民生費	1,225,897	1,161,420	64,477	構成比 20.6% 社会福祉費524,836 保健福祉費434,331 児童福祉費266,730 など
衛生費	464,556	395,395	69,161	構成比 7.8% 環境衛生費48,008 清掃費187,295 水環境費229,253 など
農林水産業費	777,329	675,460	101,869	構成比 13.0% 農業費751,173 林業費17,279 水産業費8,877 など
商工費	30,827	27,615	3,212	構成比 0.5%
土木費	754,470	859,949	- 105,479	構成比 12.7% 土木管理費221,326 道路橋梁費40,405 港湾費346,021 住宅費146,718 など
消防費	214,701	239,059	- 24,358	構成比 3.6%
教育費	720,185	708,922	11,263	構成比 12.1% 総務費134,216 小学校75,313 中学校41,603 幼稚園95,068 社会教育268,303 保健体育105,682
公債費	672,742	697,291	- 24,549	構成比 11.3%
予備費	5,000	5,000	0	構成比 0.1%
一般会計歳出合計	5,958,160	5,689,916	268,244	特別会計への繰入金 国保147,409 介護154,714 後期45,204 雇働2,389 診療所19,182 簡水159,368 農排42,032 下水道157,228 前年度特別会計への繰入金 国保121,566 介護151,734 後期38,000 雇働1,239 診療所5,033 簡水130,369 農排37,592 下水道161,416

■平成27年度 喜界町特別会計歳入歳出予算

特別会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較	説明
国民健康保険	1,295,992	1,137,259	158,733	被保険者数2766人 1.713世帯 国保税総額164,508 後期高齢者支援金、共同事業拠出金が増額
直営診療所	25,554	5,033	20,521	H27年度より月2回8日間の診療を実施
介護保険	919,915	956,804	- 36,889	第1号被保険者数2,729人
後期高齢者医療	97,554	89,153	8,401	広域連合納付金が8,404千円増 前期1,059人 後期1,630人 高齢化率35%
老人福祉施設事業	359,061	353,399	5,662	増額の主な要因は人件費の増によるもの
屠畜場事業	2,930	1,782	1,148	屠殺頭数 豚 40頭 山羊 150頭見込み 施設の老朽化に留意しつつ食肉の適正処理と衛生管理に努力
簡易水道事業	1,520,938	932,159	588,779	西部地区工事費1,184,000
農業集落排水事業	54,555	51,753	2,802	水洗化率 城久地区 47.6% 荒木地区 52.9% 志戸桶・佐手久地区 31.5%
公共下水道事業	198,004	196,689	1,315	水洗化率 湾 45.2% 赤連 53.4% 中里 41.4.1% 池治 70.8%
特別会計合計	4,474,503	3,724,031	750,472	特会は受益者負担と会計上独立採算が原則ではあるが町民の過度な負担を軽減するために一般会計から相当額を繰入している